

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170100350		
法人名	ジンフィールド株式会社		
事業所名	グループホーム シニアライフ本庄		
所在地	佐賀市本庄町大字鹿子9番地3		
自己評価作成日	令和3年7月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp">www.kaigokensaku.mhlw.go.jp</a>
-------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和3年8月18日	外部評価確定日	令和3年12月2日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>理念にもあるように「人としての尊厳を大切にして、明るく・楽しく・安心して暮らせる環境の提供を目指します。」を念頭に、ご利用者様の表情や気持ちが穏やかであるよう、職員はご利用者様とのコミュニケーションや職員同士のコミュニケーションを図るよう努めています。また協力医療機関やかかりつけ薬局との連携をとり、ご利用者様の病状把握と異常時の早期発見、早期対応ができ、心身共にご利用者様、ご家族様に安心して頂けるサービス提供を目指しています。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>市郊外に位置し車の往来は多いが、通りより離れているので騒音は気にならない。3年前他事業所より引き継がれ、理念はそのまま大事にされている。厨房には、「理念」と「挨拶と礼儀」が掲示されている。両ユニットは仕切りが無く利用者は自由に行き来出来、交流が出来ている。ユニット毎に独自の目標や季節の作品がある。リビングには大きなソファがあり、利用者は新聞や広告、テレビを見たり職員の支援を受けながら思い思いに過ごされている。カレンダーや今日の献立、食事の時間等大きく、分かり易く掲示されている。利用者が安心して生活出来るように努力されている。薬局がオーナーである為、薬局と協力病院との関係は良く、24時間体制で体調変化の際にも対応出来る為家族も職員も安心して健康維持が保たれている。感染予防の為玄関には外来者用手洗いと消毒液の用意がされている。リビングからは笑い声が聞こえ、楽しい雰囲気伝わってくる。</p>
---

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟)	自己評価／ユニットB(南棟)	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	次のステップに向けて期待したい内容
			実施状況	実施状況	実施状況	
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「尊厳楽しく明るく安心」を理念として掲げ「地域の人と触れ合おう地域の人のためになろう地域福祉の核になろう」をスローガンに、またユニットごとに半年間の目標を朝礼にて唱和を行っている。また、各職員の個人年間目標を掲げ、日常の介護業務の中での実践につなげている。	オレンジカフェのミニ講座や地域の老人会に参加させていただき、物忘れ防止や簡単な体操等で、支援方法を伝える事ができている。	前事業所の理念を引き継ぎ、各ユニットに掲示され、朝礼の際に唱和している。支援の内容や、個人の年間目標達成の為、理念に向かい合い共有し、反省会も実施されている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域に愛され、地域に開放された事業所を目指し、事業所の菜園や花壇を地域の人に開放し、利用して頂き共同栽培を行っている。収穫した野菜類を頂く事もあり入居者の食事の際に提供し、共同栽培の楽しさを地域の人と共生して味わっている。	地域に愛され、地域に開放された事業所を目指し、事業所の菜園や花壇を地域の人に開放し、利用して頂き共同栽培を行っている。収穫した野菜類を頂く事もあり入居者の食事の際に提供し、共同栽培の楽しさを地域の人と共生して味わっている。	自治会には加入している。これまでオレンジカフェ開催の際には、自治会から地域住民にチラシの配布や声掛けがあり、多くの参加があった。高齢者の対応やグループホームの良さを知る為に、学生の職場体験を実施する等、地域との触れ合いを大切にしている。今後は保育園との交流も検討されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	オレンジカフェのミニ講座や地域の老人会に参加させていただき、物忘れ防止や簡単な体操等で、支援方法を伝える事ができている。	オレンジカフェのミニ講座や地域の老人会に参加させていただき、物忘れ防止や簡単な体操等で、支援方法を伝える事ができている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回実施し、委員からの意見、要望を聞き、取り組みに活かしている。新型コロナウイルス感染拡大防止の為、昨年より事業所内でスタッフのみで開催し、推進委員の方には議事録を送付している。	運営推進会議は2ヶ月に1回実施し、委員からの意見、要望を聞き、取り組みに活かしている。新型コロナウイルス感染拡大防止の為、昨年より紙面での開催としている。	今年度は運営協議会委員集まってる会議は行われず、事業所のスタッフで開催し、入居状況、利用者、職員の行事の内容と報告を書面にし、委員の方、家族代表の方に送付している。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟)	自己評価／ユニットB(南棟)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者、保険者とは日常の業務を通じ、連携を取り合い運営の指導や助言、研修の参加へのアドバイス等をうけている。また、新規入所があった場合は、情報共有を行っている。事業所として地域交流や協力関係の視野や幅が広がるよう努めている。	市町村担当者、保険者とは日常の業務を通じ、連携を取り合い運営の指導や助言、研修の参加へのアドバイス等をうけている。また、新規入所があった場合は、情報共有を行っている。事業所として地域交流や協力関係の視野や幅が広がるよう努めている。	現在5人の生活保護の利用者があり、手続や入退者、待機者の現状報告等担当者と話し合っている。火災訓練には近くのタクシー会社の協力があり、日頃から挨拶や声掛けをし、利用者の家族がタクシーを利用する等、お互いに地域との関わりが保たれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所で、身体拘束をしない、させない、許さないの三原則を守る為「高齢者虐待マニュアル」「事故、トラブル、ヒヤリ報告書」等を作成。特に身体拘束については、「緊急やむを得ない場合の身体拘束に関する同意書」を徴収し、かつ観察・再検討結果を行い、家族等の不安を払拭している。	事業所で、身体拘束をしない、させない、許さないの三原則を守る為「高齢者虐待マニュアル」「事故、トラブル、ヒヤリ報告書」等を作成。特に身体拘束については、「緊急やむを得ない場合の身体拘束に関する同意書」を徴収し、かつ観察・再検討結果を行い、家族等の不安を払拭している。	玄関の施錠はしていない。身体拘束の三原則は各棟に掲示されている。事例を出し合う研修があり、言葉の拘束も含め職員は禁止や弊害について周知されている。立ち上がりの際、不安定な場合は、安全帯を使用するが、1日の内でも安定している時間帯は見守りしながら解放される。家族にもその様子は報告されている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	新人職員には入職時、及び月一回のミーティング時や定期的な社内研修会で、「高齢者虐待防止マニュアル」を元に学習し、正しい理解とケアに取り組み、防止に努めている。	新人職員には入職時、及び月一回のミーティング時や定期的な社内研修会で、「高齢者虐待防止マニュアル」を元に学習し、正しい理解とケアに取り組み、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見制度について、身体拘束・高齢者虐待の研修時に合わせて勉強を実施している。	権利擁護や成年後見制度について、身体拘束・高齢者虐待の研修時に合わせて勉強を実施している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結については保険者の指導を受け、重要事項証明書と契約書を一本化する等して合理化と簡素化を図った。また、契約に当たっては懇切、丁寧に内容の証明を行い、施設長、管理者、ケアマネージャー立会いで説明、理解、納得してもらっている。	契約の締結については保険者の指導を受け、重要事項証明書と契約書を一本化する等して合理化と簡素化を図った。また、契約に当たっては懇切、丁寧に内容の証明を行い、施設長、管理者、ケアマネージャー立会いで説明、理解、納得してもらっている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者や家族の意見、要望が迅速に上司に届くよう職員間の意思の疎通を図る一方、意見・要望が出た場合は職員と話し合い、運営に反映させている。	利用者や家族の意見、要望が迅速に上司に届くよう職員間の意思の疎通を図る一方、意見・要望が出た場合は職員と話し合い、運営に反映させている。	これまでに直接面会時には意見、要望を聞けたが、現在は時間も制限され聞くことが出来ない。毎月お便りを発行しており、担当者は利用者の日常生活の様子を写真、健康状態を詳しく記入して発送している。面会が出来ないので、家族は安心され喜ばれている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案は日常的に聞く機会を設け、反映させている。ご利用者様の生活環境や職員の労働環境改善、業務のスムーズ化を実施している。	職員の意見や提案は日常的に聞く機会を設け、反映させている。ご利用者様の生活環境や職員の労働環境改善、業務のスムーズ化を実施している。	職員の異動はある。日頃から意見は言い易い。利用者の生活の対応やアイデア、薬に対する提案等、「やってみよう」と話し合い改善される事もある。業務がスムーズに出来るよう、必要な備品を揃える事から改善されている。職員に負担にならないよう、安心して働ける環境作りを話し合われている。管理者は職員の悩み、心配事を聞きとり、仕事の相談にはその場だけでなく、常に気にかけてフォローされ、職員は安心して働いている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者も現場に入り、業務の状況(ご利用者様の生活状況)を把握し、職員個々の努力や実績、勤務状況の把握、体調把握を行い、必要時は代表者へ報告を行っている。各自が意欲を持って働ける職場環境を整えている。	管理者も現場に入り、業務の状況(ご利用者様の生活状況)を把握し、職員個々の努力や実績、勤務状況の把握、体調把握を行い、必要時は代表者へ報告を行っている。各自が意欲を持って働ける職場環境を整えている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員のケアの実際と力量の把握に努め、社内外の研修日程を知らせる機会を提供している。また、新規のご利用者のケア方法は全職員で話し合い、実施している。	職員のケアの実際と力量の把握に努め、社内外の研修日程を知らせる機会を提供している。また、新規のご利用者のケア方法は全職員で話し合い、実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は代表者と話し合いする機会を多く設け、医療、福祉、地域、保険者等の関係各所と連携を図り、サービスの質の向上を目指し取り組んでいる。	管理者は代表者と話し合いする機会を多く設け、医療、福祉、地域、保険者等の関係各所と連携を図り、サービスの質の向上を目指し取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟)	自己評価／ユニットB(南棟)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	新規入居にあたっては、ご利用者様、ご家族様、管理者、介護支援専門員、各棟ホーム長、看護師と話し合い、ご利用者様が安心して生活を送れるような関係作りに努めている。	新規入居にあたっては、ご利用者様、ご家族様、管理者、介護支援専門員、各棟ホーム長、看護師と話し合い、ご利用者様が安心して生活を送れるような関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居申し込みは、利用者や家族の最後の相談の拠り所と理解し、家族の意見や要望を汲み入れた対応を心掛けている。特に、利用者の不安を解消する為、利用者の生活歴や性格、嗜好等を家族から聞き取り、信頼関係を作る事としている。	入居申し込みは、利用者や家族の最後の相談の拠り所と理解し、家族の意見や要望を汲み入れた対応を心掛けている。特に、利用者の不安を解消する為、利用者の生活歴や性格、嗜好等を家族から聞き取り、信頼関係を作る事としている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期支援の対応が大切なことから、ケアマネジャーがケア、診療記録等を精査し、どのような介護支援を実施するかを協議している。ご利用者様が安心して生活を送れるような関係作りに努めている。	初期支援の対応が大切なことから、ケアマネジャーがケア、診療記録等を精査し、どのような介護支援を実施するかを協議している。ご利用者様が安心して生活を送れるような関係作りに努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様が意欲を持って生活できるよう、残存機能の把握やできることの提供を行い、生活を共にする関係を築くよう努めている。	ご利用者様が意欲を持って生活できるよう、残存機能の把握やできることの提供を行い、生活を共にする関係を築くよう努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様がご利用者様の生活に充分関わって頂けるよう、生活状況の報告や意見を伺う機会を設け、ご利用者様の生活を共に支えている関係を築くよう努めている。	ご家族様がご利用者様の生活に充分関わって頂けるよう、生活状況の報告や意見を伺う機会を設け、ご利用者様の生活を共に支えている関係を築くよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者様本人がこれまで大切にされてきた家族の他、馴染みの方との面会や電話もあり、関係が途切れないよう支援している。	ご利用者様本人がこれまで大切にされてきた家族の他、馴染みの方との面会や電話もあり、関係が途切れないよう支援している。	友人、親戚、遠方から孫の面会があったが、現在は出来ていない。予約制で各棟1組10分程度、距離をおいての面会や窓越しに顔を合わせ、手を振ったりされる。携帯電話を持参の方もあり、自由に会話を楽しまれている。職員は充電にも気配りをされている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者のリズムに合わせ、会話やレクリエーション、洗濯物、食事の片づけ等を通じて参加を促し行う事で、孤立感を持たせない工夫をユニット毎で行っている。	利用者のリズムに合わせ、会話やレクリエーション、洗濯物、食事の片づけ等を通じて参加を促し行う事で、孤立感を持たせない工夫をユニット毎で行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、何かあれば相談して頂けるような働きかけと、他の事業所へ移られても面会に行く事や移られた事業所の職員へ経過を尋ねる等の支援を務めている。	契約が終了しても、何かあれば相談して頂けるような働きかけと、他の事業所へ移られても面会に行く事や移られた事業所の職員へ経過を尋ねる等の支援を務めている。		

### Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入所時に本人が判断できなければご家族への思いや暮らし方の希望、意向の把握を行い、その環境が継続できるよう支援に努めている。	入所時に本人が判断できなければご家族への思いや暮らし方の希望、意向の把握を行い、その環境が継続できるよう支援に努めている。	職員は利用者と一緒に話す事を大切にしている。その中で何気ない表情や動作、顔色を見て様子を知る事があり、必要事項は申し送りノートに記入し、介護計画に役立っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者一人ひとりに生活歴や生活環境も異なる事から、利用者のライフスタイル、バックグラウンドをケース記録に記入し、職員と利用者が共に情報の共有をしている。	利用者一人ひとりに生活歴や生活環境も異なる事から、利用者のライフスタイル、バックグラウンドをケース記録に記入し、職員と利用者が共に情報の共有をしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟)	自己評価／ユニットB(南棟)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活リズムに合わせたケアを行っており、一日の詳細な記録、排泄リズムや身体の病状に影響しない嗜好の提供などに努めている。	一人ひとりの生活リズムに合わせたケアを行っており、一日の詳細な記録、排泄リズムや身体の病状に影響しない嗜好の提供などに努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居の段階で利用者や家族の主訴を聞き取り、本人、家族の要望に沿った介護計画を作成している。介護計画作成にあたっては、計画作成担当者が看護師、ケアマネジャー、介護士、家族等の意見を聴取している。個別会議又は棟会議の開催時にモニタリングを実施し、介護計画作成に努めている。	入居の段階で利用者や家族の主訴を聞き取り、本人、家族の要望に沿った介護計画を作成している。介護計画作成にあたっては、計画作成担当者が看護師、ケアマネジャー、介護士、家族等の意見を聴取している。月1回の担当者会議の開催時にモニタリングを実施し、介護計画作成に努めている。	入所時に担当者会議に参加され、意見や要望を聞いている。担当者は月1回の担当者会議に申し送りノートを参考に利用者の情報や家族の意見、要望を聞き、話し合い、現状に沿い介護計画を作成される。状態の変化の際にはサービスを見直し、家族にも報告される。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者の日々の記録は、ケース記録やバイタル表に記録をし、職員が早期に情報共有できるよう体制作りをしている。全利用者の健康状態、日常動作について職員間で申し送り等で確認を行う事としている。	利用者の日々の記録は、ケース記録やバイタル表に記録をし、職員が早期に情報共有できるよう体制作りをしている。全利用者の健康状態、日常動作について職員間で申し送り等で確認を行う事としている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	新規入居者に対してアセスメントにてニーズを把握し、本人やご家族様の状況に応じ、体験入所で取り組んだり、既存の入居者様に関してもその時々生まれたニーズを検討し、柔軟な支援やサービスに繋げている。	新規入居者に対してアセスメントにてニーズを把握し、本人やご家族様の状況に応じ、体験入所で取り組んだり、既存の入居者様に関してもその時々生まれたニーズを検討し、柔軟な支援やサービスに繋げている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	当事業所は地域に根差した事業所作りを指標としていることから、常に地域との良好な関係を築く事としており、地域ボランティアからの手作りのプレゼントやお手紙を頂き掲示をしている。	当事業所は地域に根差した事業所作りを指標としていることから、常に地域との良好な関係を築く事としており、地域ボランティアからの手作りのプレゼントやお手紙を頂き掲示をしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA（北棟） （事業所記入欄）	自己評価／ユニットB（南棟） （事業所記入欄）	外部評価 （評価機関記入欄）	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	受診は本人様やご家族様と相談し ながら、希望や要望にて協力医療 機関やその他の医療機関を受診、 往診にて対応し、適切な医療を受け られるよう支援している。また、特変 があった場合には速やかにご家族 へ連絡し、看護介護にて健康及び 病状管理を行い、本人様やご家族 様に安心して頂けるよう支援してい る。	受診は本人様やご家族様と相談し ながら、希望や要望にて協力医療 機関やその他の医療機関を受診、 往診にて対応し、適切な医療を受け られるよう支援している。また、特変 があった場合には速やかにご家族 へ連絡し、看護介護にて健康及び 病状管理を行い、本人様やご家族 様に安心して頂けるよう支援してい る。	薬局がオーナーであるため、薬局と 協力医とは連携が良く24時間体制 で受診出来る。往診は月2回、歯科 は訪問診療、皮膚科は週1回。他科 の診療は基本家族であるが困難な 時は事業所に対応される。薬連絡 ノートを作成されている。症状変化 の際には医師、薬剤師の参加で検 討される。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪 問看護師等に伝えて相談し、個々の利用 者が適切な受診や看護を受けられるよう に支援している	当事業所では、非常勤の看護師を 配置し健康維持、緊急対応時の相 談に万全を期するとともに相談でき る体制を取っている。職員や管理 者、ホーム長での報告や観察、確認 を随時行い早期発見、対応に繋がる よう努めている。	当事業所では、非常勤の看護師を 配置し健康維持、緊急対応時の相 談に万全を期するとともに相談でき る体制を取っている。職員や管理 者、ホーム長での報告や観察、確認 を随時行い早期発見、対応に繋がる よう努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院できる ように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。又は、そうした場合に備え て病院関係者との関係づくりを行ってい る。	ご利用者が入院時には、病院より現 在の状態等の聞き取りを定期的 に行っている。日常的に必要時は直ぐ に対応して頂けるような関係作りを 行っている。	ご利用者が入院時には、病院より現 在の状態等の聞き取りを定期的 に行っている。日常的に必要時は直ぐ に対応して頂けるような関係作りを 行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所ですることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	利用者は高齢なことから、急変時の 説明をし、同意書に署名捺印を頂い ている。「重度化した場合及び看 取り介護に関する指針」に関する同意 書も併せて説明後、署名捺印を頂 いている。環境が変わらず、住み慣 れた環境で継続して過ごして頂ける よう、関係各所でチーム支援に取り 組んでいる。	利用者は高齢なことから、急変時の 説明をし、同意書に署名捺印を頂い ている。「重度化した場合及び看 取り介護に関する指針」に関する同意 書も併せて説明後、署名捺印を頂 いている。環境が変わらず、住み慣 れた環境で継続して過ごして頂ける よう、関係各所でチーム支援に取り 組んでいる。	入所時に看取り介護の指針につい て詳しく説明される。看取りの実績 はない。最終的には家族の希望で 病院へ転院される。今後希望があ れば、受け入れ体制は出来ており、 職員全員周知されている。	



自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者が急変された事を想定して、緊急連絡網の作成や夜間帯でもすぐに対応出来る職員を配置し、職員間で常に想定、実践出来るよう努めている。	利用者が急変された事を想定して、緊急連絡網の作成や夜間帯でもすぐに対応出来る職員を配置し、職員間で常に想定、実践出来るよう努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防署指示の下、日中、夜間を想定した誘導、避難訓練を実施している。また、避難誘導時の搬送順を共有し、迅速、安全な避難訓練を実施している。さらに近隣タクシー会社様の協力を仰いでいる。	年2回の消防署指示の下、日中、夜間を想定した誘導、避難訓練を実施している。また、避難誘導時の搬送順を共有し、迅速、安全な避難訓練を実施している。さらに近隣タクシー会社様の協力を仰いでいる。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員からは採用時に個人情報保護の為に誓約書を徴収し、家族からは、「個人情報の同意書」をもらい、個人のプライバシー保護に万全を期している。また、サービス提供時には、一人ひとりの人格や価値観を尊重し、特に排泄や入浴等は羞恥心に配慮し実施している。	職員からは採用時に個人情報保護の為に誓約書を徴収し、家族からは、「個人情報の同意書」をもらい、個人のプライバシー保護に万全を期している。また、サービス提供時には、一人ひとりの人格や価値観を尊重し、特に排泄や入浴等は羞恥心に配慮し実施している。	会社の年間計画により接遇、個人情報、秘密保持の研修は事業所で行い、講師の資料を配布し自主学習し、レポート提出となっている。研修記録報告書がある。今月よりオンラインで全施設(6事業所)で受けられるようになった。言葉掛けにも佐賀弁を柔らかく使い、分かり易く伝わっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が事業所内で自分の生活リズムに合った生活が出来るよう本人の日常生活の中での希望や意見を聞き、その内容に応じて行っていく事としている。	利用者が事業所内で自分の生活リズムに合った生活が出来るよう本人の日常生活の中での希望や意見を聞き、その内容に応じて行っていく事としている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の日課は計画的に策定しているが、利用者のリズムに合った生活パターンも必要な事から、リビングでのテレビ鑑賞、気の合う者同士の会話、集団レクリエーションを行っている。また、洗濯物の取り込みや食事の後片付け等も本人の希望を優先し、生活リズムの共用に努めている。	一日の日課は計画的に策定しているが、利用者のリズムに合った生活パターンも必要な事から、リビングでのテレビ鑑賞、気の合う者同士の会話、集団レクリエーションを行っている。また、洗濯物の取り込みや食事の後片付け等も本人の希望を優先し、生活リズムの共用に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者に女性が多い事から、頭髪、着衣等に配慮し、毎月1回訪問理容を定め希望の身だしなみやおしゃれが出来るよう、生活に潤いができるような継続した支援を行っている。	利用者に女性が多い事から、頭髪、着衣等に配慮し、毎月1回訪問理容を定め希望の身だしなみやおしゃれが出来るよう、生活に潤いができるような継続した支援を行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事のメニューの紹介や確認を行いながら、旬の食材や以前の食事の話題を提供し、食事の楽しみを共有している。利用者の中で軽度の認知症の方は、職員と一緒に食器の片づけもされ、家庭的雰囲気も出している。栄養バランスはもちろん、温度や彩にも配慮している。	食事のメニューの紹介や確認を行いながら、旬の食材や以前の食事の話題を提供し、食事の楽しみを共有している。利用者の中で軽度の認知症の方は、職員と一緒に食器の片づけもされ、家庭的雰囲気も出している。栄養バランスはもちろん、温度や彩にも配慮している。	食材はメニューを作成し業者から取り寄せている。厨房は2ユニット対面となっており、職員は利用者を見守りしながら作業されている。またメニューも分担して作るため、時間短縮になっている。旬のものや、畑で採れた野菜等微調整している。おやつは利用者とする事もあり、市販のものには手を加えたり工夫されている。その人に合う食事形態で食べ易いように対応している。職員は感染予防の為、利用者の中には入らず近くから見守りながら検食を食べている。栄養チェックは本部でされている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1週間のメニューの微調整は職員が行っており、なるべく季節の物を取り入れ食事の提供を行っている。利用者ごとの口腔内状態を把握し、咀嚼・嚥下しやすい食事形態で提供、また、水分も毎回計量を行い適切な水分摂取ができるよう支援している。	1週間のメニューの微調整は職員が行っており、なるべく季節の物を取り入れ食事の提供を行っている。利用者ごとの口腔内状態を把握し、咀嚼・嚥下しやすい食事形態で提供、また、水分も毎回計量を行い適切な水分摂取ができるよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食事の歯磨きは、日課に取り入れれ自分で歯磨きが出来ない方には職員が介助し口腔内の清潔保持に努めている。(誤嚥性肺炎や歯周病予防、進行予防)また、歯ブラシやコップの定期的な交換・消毒を行う。	毎食事の歯磨きは、日課に取り入れれ自分で歯磨きが出来ない方には職員が介助し口腔内の清潔保持に努めている。(誤嚥性肺炎や歯周病予防、進行予防)また、歯ブラシやコップの定期的な交換・消毒を行う。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(南棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的な排泄の促しや確認、交換を実施し、排泄リズムが把握できるよう、排泄チェック表記録により自力排泄に取り組んでいる。排泄機能(便尿意)が保たれているご利用者様には、全介助の方でもリズムよく排泄が出来るよう支援を行っている。	定期的な排泄の促しや確認、交換を実施し、排泄リズムが把握できるよう、排泄チェック表記録により自力排泄に取り組んでいる。排泄機能(便尿意)が保たれているご利用者様には、全介助の方でもリズムよく排泄が出来るよう支援を行っている。	自立を目指し排泄チェック表を参考に、状態に合わせリズムを大切に誘導している。ポータブル使用は夜間に1人、センサーマット使用で様子を把握されている。また排便については歩行訓練や風呂でのマッサージや水分補給を行っている。困難な時は医師、看護師に相談し対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄記録により、個人の便秘状況を把握し、飲食物の工夫をしている。また便秘については、朝の体操や腹部マッサージ、歩行訓練、入浴等で自然排泄できるよう支援している。	排泄記録により、個人の便秘状況を把握し、飲食物の工夫をしている。また便秘については、朝の体操や腹部マッサージ、歩行訓練、入浴等で自然排泄できるよう支援している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	事業所での基本的な入浴時間は決めているものの、声掛けにて気分的な入浴拒否があった場合は無理強いせず時間を置いて再度声掛けしたり、翌日の入浴に変更したりし、安心して満足感や爽快感を感じる事が出来る時間となるよう努めている。	事業所での基本的な入浴時間は決めているものの、声掛けにて気分的な入浴拒否があった場合は無理強いせず時間を置いて再度声掛けしたり、翌日の入浴に変更したりし、安心して満足感や爽快感を感じる事が出来る時間となるよう努めている。	基本週2回午前中の中の入浴である。入浴は会話の時間でもある。桜湯、菖蒲湯等季節を感じてもらっている。入浴拒否の方には順番や時間、人を変え対応している。必要に応じて足、手浴があり、排便の際に汚染された際にはその都度入浴されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の生活習慣に合わせた安眠休息時間を妨げないことから、原則自由としているが、昼間にレクリエーションを組み入れ活動時間を作っている。制作物、レク、お手伝いのお願いなど。	利用者の生活習慣に合わせた安眠休息時間を妨げないことから、原則自由としているが、昼間にレクリエーションを組み入れ活動時間を作っている。制作物、レク、お手伝いのお願いなど。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師による居宅療養管理指導にて、薬の目的や用法用量等の把握と理解を基本に、服薬支援と症状変化の観察に努めている。また、不明な点や相談を薬剤師に直接聞ける機会がある。	薬剤師による居宅療養管理指導にて、薬の目的や用法用量等の把握と理解を基本に、服薬支援と症状変化の観察に努めている。また、不明な点や相談を薬剤師に直接聞ける機会がある。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟)	自己評価／ユニットB(南棟)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中で、充実感や張り合い、喜びがもてるよう自尊心に配慮した声掛けにて生活の中に手伝いや、利用者同士の話に職員も入っての談話など、一日の生活にメリハリがつくような支援に努めている。	日常生活の中で、充実感や張り合い、喜びがもてるよう自尊心に配慮した声掛けにて生活の中に手伝いや、利用者同士の話に職員も入っての談話など、一日の生活にメリハリがつくような支援に努めている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節、天候にて施設のテラスや畑に出て外気を感じれるような時間をとっている。テラスではテーブルやイスも準備し、おやつやレクを行う等リフレッシュを兼ねた外出支援を行っている。駐車場の桜の下で花見なども行っている。コロナ禍になる前は希望を募り屋食を兼ねた外出を行っていた。	季節、天候にて施設のテラスや畑に出て外気を感じれるような時間をとっている。テラスではテーブルやイスも準備し、おやつやレクを行う等リフレッシュを兼ねた外出支援を行っている。駐車場の桜の下で花見なども行っている。コロナ禍になる前は希望を募り屋食を兼ねた外出を行っていた。	現在は外出できてないが、受診日は外気に触れる時間であり、気分転換になっている。敷地は広く畑があり、季節の花や多くの野菜を地域の方と栽培され、収穫した野菜は、食材に使われる事もあり、利用者の喜びや楽しみになっている。天気のいい日はテラスでお茶の時間があり、庭を眺めたり、バルーンを見て楽しめている。室内では足で新聞紙を丸めたり、牛乳パックで作ったラケットで卓球する等職員のアイデアが活かされている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の所持金については、家族の了承のもと、必要な物を購入した場合は立て替えをし、後日家族に請求書を発行している。本人様が持っておきたいと希望があった場合、金銭管理能力を考慮の上、ご家族様にも確認し対応している。	利用者の所持金については、家族の了承のもと、必要な物を購入した場合は立て替えをし、後日家族に請求書を発行している。本人様が持っておきたいと希望があった場合、金銭管理能力を考慮の上、ご家族様にも確認し対応している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話・手紙については、自由に出来るよう支援を行っている。携帯電話をお持ちのご利用者様も数名居られ、家族様よりかかったりかけたりされている。	電話・手紙については、自由に出来るよう支援を行っている。携帯電話をお持ちのご利用者様も数名居られ、家族様よりかかったりかけたりされている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(北棟)	自己評価／ユニットB(南棟)	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間については、その快適性とよい雰囲気を出すために空調、照明の調整を行い、特に異臭防止に努めている。また、毎月季節を感じられる壁面掲示をご利用者様と一緒に作成し支援している。	共有空間については、その快適性とよい雰囲気を出すために空調、照明の調整を行い、特に異臭防止に努めている。また、毎月季節を感じられる壁面掲示をご利用者様と一緒に作成し支援している。	掃除は週4日専門に依頼し、職員も行う。リビングには大きなソファがあり、毎日職員と新聞や広告を見たり自由に過ごされている。職員は利用者と会話やゆっくりする時間を大切にしている。おやつ作りには笑い声や楽しい会話が聞こえる。各棟毎に季節の作品が展示され、大きなカレンダーや今日の献立も掲示されている。タオルやフキンたたみ等、出来ることをされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有部分のリビングは利用者のくつろぎの場所でもある事から、行事のパネルや広報、イラストを掲示し、明るいいリズム感を持たせる一方、家具配置を状況に合わせて変更し、心地よく過ごせる居場所の工夫に努めている。	共有部分のリビングは利用者のくつろぎの場所でもある事から、行事のパネルや広報、イラストを掲示し、明るいいリズム感を持たせる一方、家具配置を状況に合わせて変更し、心地よく過ごせる居場所の工夫に努めている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は規格より広めに設定されており、プライベート空間の確保も図っている。特に家具の持ち込みも自由とし、入居者は思い思いに自らに合った調度品や写真を飾っている。また仏壇の備付も自由とし、心の安らぎを与えている。	居室は規格より広めに設定されており、プライベート空間の確保も図っている。特に家具の持ち込みも自由とし、入居者は思い思いに自らに合った調度品や写真を飾っている。また仏壇の備付も自由とし、心の安らぎを与えている。	居室の入口は部屋間違いが無いように、名札と花や趣味の魚拓の写真等が目印となっている。また入口は障子の引き戸になっており、自宅を思わせ落ち着きと安心感がある。居室の家具の配置は家族と相談し、住みやすく配置されている。電動ベットが備えられ仏壇、ソファ、テレビや家族の訪問の際に使用する冷蔵庫の持ち込みもある。居室の掃除は自分でされる方もあり、整理整頓されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	「できること」や「わかること」として用具が必要であれば準備を行い、見守りや助言、促しが必等な時は実施し、自立した生活が送れ、自尊心や自信が保てるよう工夫している。	「できること」や「わかること」として用具が必要であれば準備を行い、見守りや助言、促しが必等な時は実施し、自立した生活が送れ、自尊心や自信が保てるよう工夫している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない